

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援・放課後等デイサービス）

事業所名		SEAワールドはこだて		公表日		令和 7 年 3 月 21 日	
		チェック項目	はい	いいえ	現状や工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	利用定員においての当施設発達支援室の床面積は、こども1名当り2.47㎡を参考とすると、52.5㎡です。2室ある発達支援室を集団活動の場、個別対応の場に別けて使用しています。	玩具等の収納方法を改善すると更にスペースの有効利用も可能と考えています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		4	利用定員に対する職員の配置数は不足に至っていません。	支援の充実を図るため保育士、児童指導員を増員したいです。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		4	残念ながら、バリアフリーの環境整備はなされていません。	もっと視覚的に分かりやすく情報伝達ができるよう環境を整えたいです。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	サービス提供後は、施設内清掃を都度行うようにしています。また、発達支援室の有効活用が出来るよう、椅子テーブルは容易に移動可能な物を使用しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		その環境になっていると思います。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	業務改善に向けての職員全員の意識は確認出来ています。	PDCAサイクルがきちんと回るという点では、まだ時間を要します。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	定期的に行い、改善に繋げたいです。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		機会を設けており、出来るだけ業務改善につなげるようにしています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		外部評価は受けておりませんので、検討したいです。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	外部研修の機会をなるべく確保するよう努めています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		支援プログラムを作成し、公表しました。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	1	アセスメントを適切に行い、利用児童様、保護者様のニーズに沿った計画をこれからも作成したいです。		
	13	児童発達支援計画、放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		全職員共通理解の下で行われていると思います。		
	14	児童発達支援計画、放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1	念頭に置きながら努めています。	活動の流れの中で十分に取組んでいない時もあり、支援の工夫も必要です。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	出来るだけ、一方に捉われないように確認しています。		
	16	児童発達支援計画、放課後等デイサービス計画には、児童発達支援、放課後等デイサービスの提供すべき支援の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1	保護者様に分かりやすいよう、なるべく具体的内容を設定するよう努めています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		職員間で確認を行うようにしています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	1	職員間で日々努力しています。		

適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		個人の特性に応じ、個別、集団活動のバランスを考慮するようにしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		業務前に確認するようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		翌日業務開始前に気付き点を確認するようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		児童さんの成長へ繋がりそうな様子を特に記載するようにしています。	一方で、客観的面からの内容についても記載するよう努めたいです。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1	定期的にモニタリングを行い、成長に応じ見直しを行うようにしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。(放課後等デイサービス)	3	1	日常生活の自立や積極性、協調性を養えるよう支援にあたっています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。(放課後等デイサービス)	3	1	出来るだけ、こども自身の判断で物事が決められるような支援を行うようにしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		管理者、児童発達支援管理責任者、児童指導員が参加しています。	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		4		今後、必要に応じて連携体制を整えたいです。
	28	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。(児童発達支援)	2	2	出来るだけ、情報共有、相互理解を図るようにしています。	
	29	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。(児童発達支援)	2	2	出来るだけ、情報共有、相互理解を図るようにしています。	
	30	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。(放課後等デイサービス)	4		円滑なサービス提供のため行うようにしています。	
	31	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。(放課後等デイサービス)	2	2	出来るだけ、情報共有、相互理解には努めています。	
	32	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。(放課後等デイサービス)	4		今のところ例がありませんが、その場合支援内容の情報提供はさせていただきます。	
	33	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4		出来るだけ、機会を設けるようにしたいです。
	34	保育所や認定こども園、幼稚園、放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		公共の公園を利用する機会が多く、ここでは地域の他のこども達と仲良く活動する場面が見られています。	
	35	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。(放課後等デイサービス)	4		函館市、北斗市、七飯町(2市1町)の放課後等デイサービス事業所連絡会へ参加させていただいております。	
	36	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		その日のお子様の様子は、連絡ノートやお帰りの際に保護者様へ直接お伝えするようにしています。	
	37	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		保護者様へは、日々の接しの中で対応させていただいております。	
	保護者への説明等	38	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		行っていると思います。
39		児童発達支援計画、放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		なるべく機会を設け、作成に取り組んでいます。	
40		「児童発達支援計画」、「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画、放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		保護者様へは、項目毎に説明するようにし同意を得るようにしています。	

保護者への説明等	41	定期的に家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		相談等には、出来る限り対応していると思います。	
	42	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		4		保護者様同士の交流会の機会が設けられるよう、まずは保護者様からの意見の聞き入れ、調整から始めたいです。
	43	こどもや保護者からの苦情や相談、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情や相談、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		苦情や相談、申入れ等については、出来る限り迅速に対応していると思います。	
	44	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		4		定期的な通信においては、HPやSNS等を上手く活用出来るよう取り組みを進めたいです。
	45	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		留意していると思います。	
	46	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		お母様、お父様の立場になって、配慮するようにしています。	
	47	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		朝、よく挨拶を交わす就労支援事業所へ通う方や近隣に住む放デイを卒業した元利用者様の行事への招き入れなどを現在検討しています。
非常時等の対応	48	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、衛生管理マニュアル（感染症対応マニュアル）に関しては策定に至っています。	保護者様への周知という点、防犯マニュアル策定について対応を急ぎたいです。
	49	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		消防訓練は、令和6年9月28日、令和7年3月8日の2回実施しました。自然災害に対する避難訓練は、令和6年9月28日に消防訓練と合わせて実施しました。	
	50	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		出来る限り確認を行い、その児童さんには配慮するようにしています。	
	51	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		保護者様、学校様、相談支援事業所様等からの情報に基づき対応するようにしています。	
	52	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		4	安全確認は都度行い、安全への配慮をしています。	安全計画を作成し、その中で支援が行えるようにしたいです。
	53	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		4		安全計画を作成し、それに基づく取組内容を家族様へ周知出来るようにしたいです。
	54	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		職員間で共有するようにしています。今後も危険予知への役立ったものとしたいです。	
	55	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		その報道は最近多く、研修機会を確保するようにしています。	
	56	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		現在に至るまで、対象となる利用児童さんはありませんが、そのような場合は適切に対応したいと思います。	